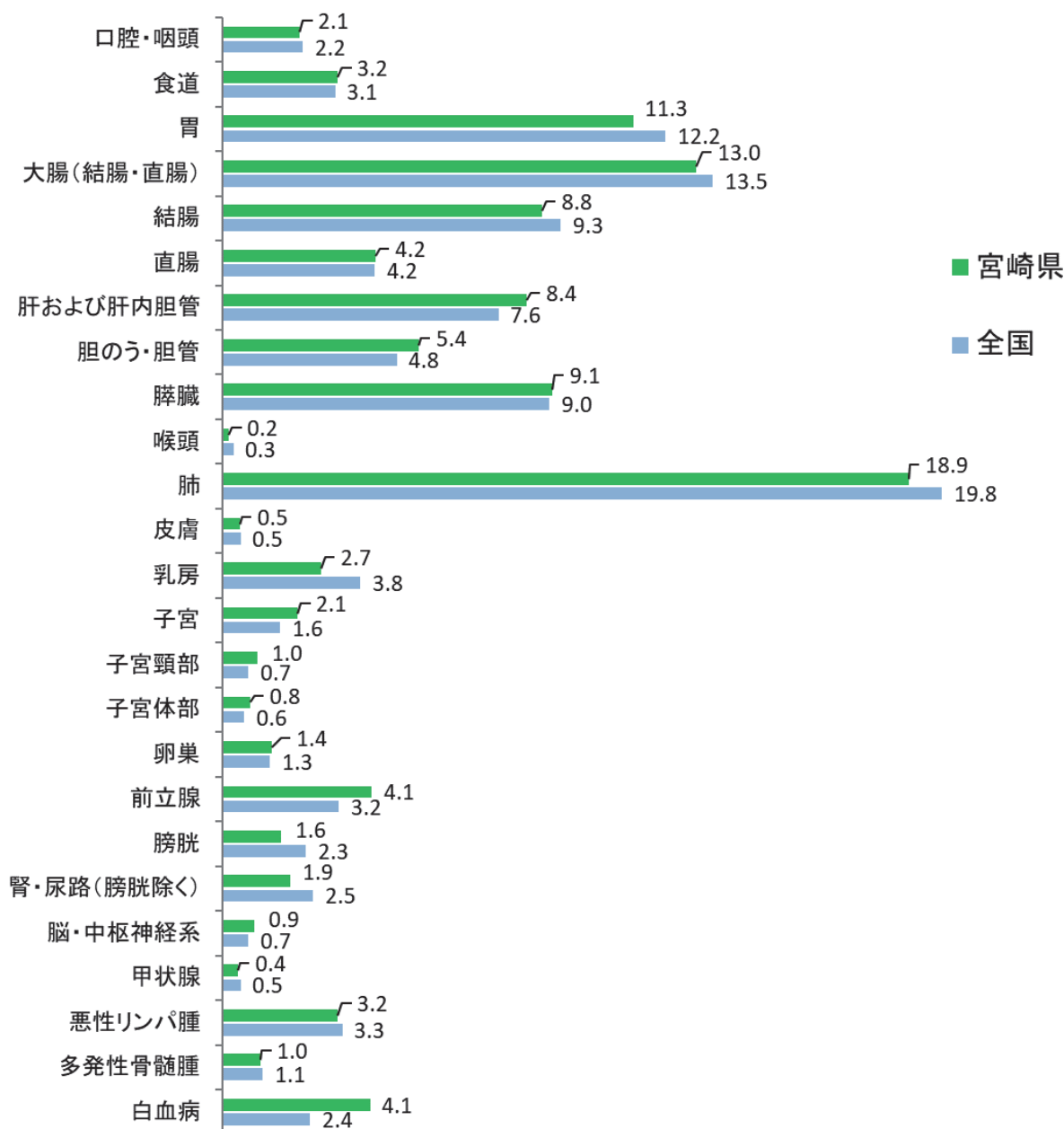


5 2016年がん死亡の概要

(1) 全体の概要 : 表9から作成

2016年宮崎県において、がんによる死亡は、男性2,138人、女性1,505人の合計3,643人であった。割合が高い部位は肺18.9%であり、大腸(結腸・直腸)13.0%、胃11.3%と続く。件数で見ると、男性では肺484件、胃262件、大腸(結腸・直腸)252件が上位を占めており、前立腺は150件であった。女性では大腸(結腸・直腸)223件、肺204件、膵臓165件が上位を占めており、乳房は97件であった。

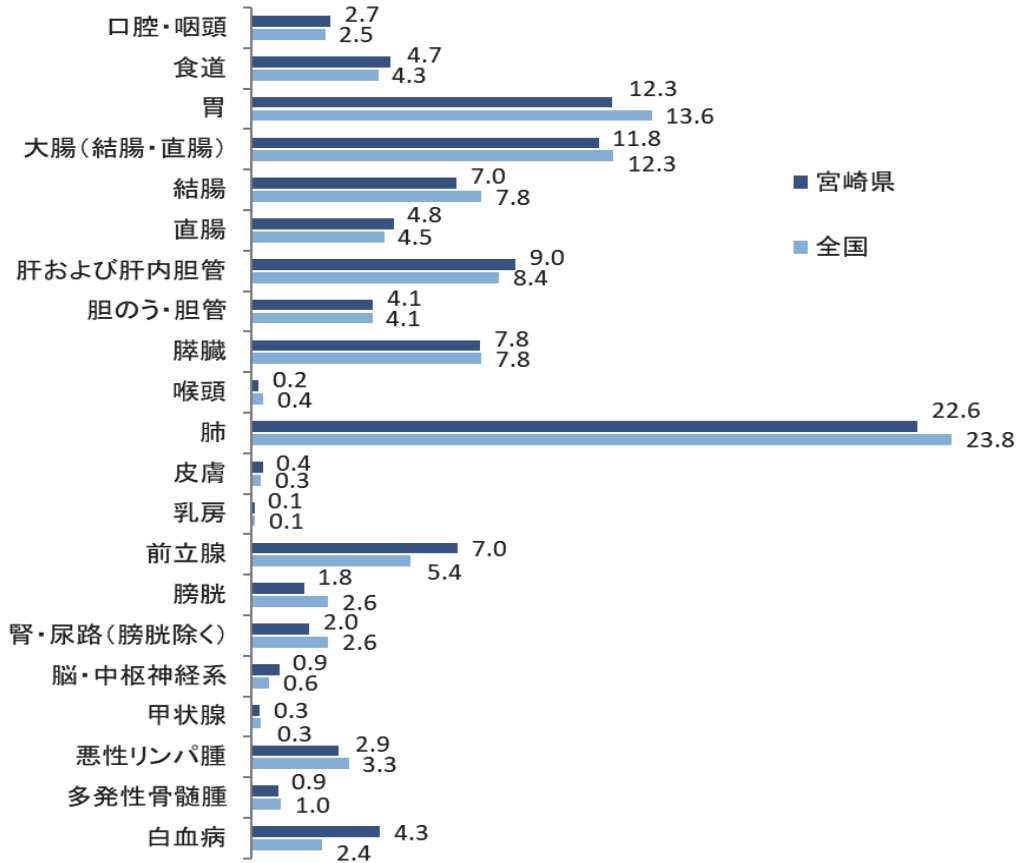
2016年死亡部位割合(%) (全国比較)



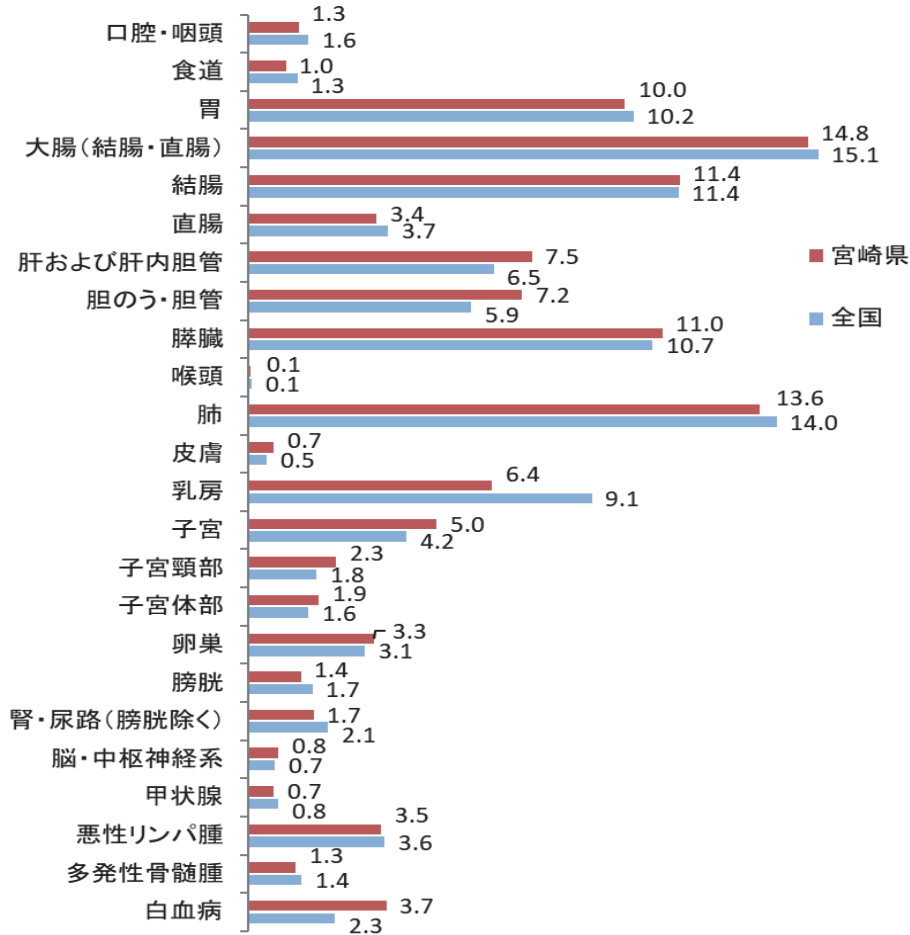
出典： 全国値は、公益財団法人 がん研究振興財団「がんの統計'17」

2. ICD-10 三桁分類別がん死亡(死亡数・割合) (2016年) から抜粋

男性 死亡部位割合(%) (全国比較)



女性 死亡部位割合(%) (全国比較)

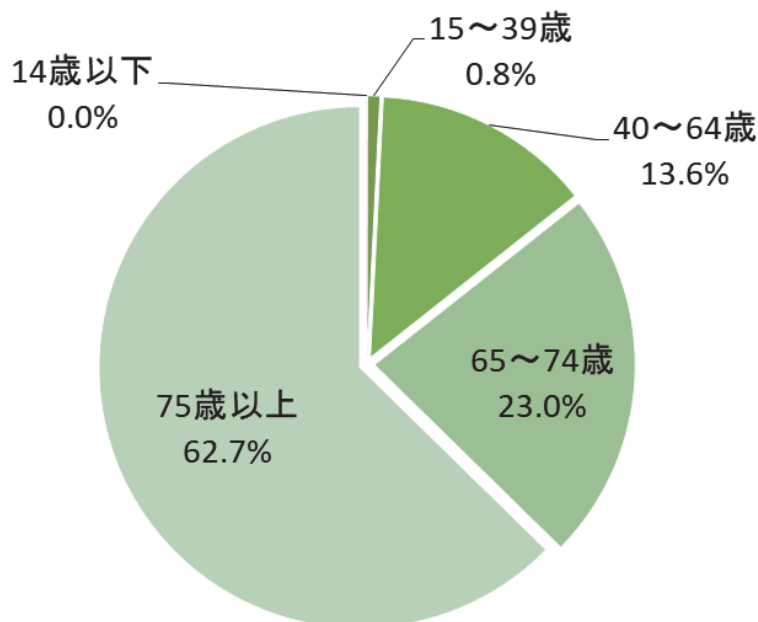


(2) 年齢階級別に見たがんの死亡 : 表10から作成

年齢階級別に見ると、75歳以上の割合は62.7%、65歳から74歳23.0%であった。

男性では、75歳以上が58.2%、女性では69.0%であった。部位別に見ると55歳から胃、大腸(結腸・直腸)肝および肝内胆管、肺の件数が多くなっており、60歳からは食道、白血病も増加している。

全体(件)	
14歳以下	1
15～39歳	28
40～64歳	494
65～74歳	837
75歳以上	2,283
合計	3,643



男性(件)	
14歳以下	1
15～39歳	13
40～64歳	309
65～74歳	571
75歳以上	1,244
合計	2,138

女性(件)	
14歳以下	0
15～39歳	15
40～64歳	185
65～74歳	266
75歳以上	1,039
合計	1,505

